

2015年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト

■前年同期比減収減益も、通期見通しに対する進捗はまずまずの滑り出し

◇売上高	2,518 億円	0.5%	減収
◇営業利益	39 億円	17.9%	減益
◇経常利益	36 億円	29.5%	減益
◇四半期純利益	21 億円	30.9%	減益

損益の状況						
(単位:億円)	2015/3期		前年同期比		2015/3期 通期	
	第1四半期実績	第1四半期実績	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	2,530	2,518	△ 12	△0.5%	11,500	21.9%
売上総利益	207	200	△ 8	△3.8%	-	-
販売費・一般管理費	160	161	1	0.3%	-	-
営業利益	47	39	△ 8	△17.9%	220	17.6%
受取配当金	3	2	△ 0	-	-	-
利息収支	△ 7	△ 7	0	-	-	-
持分法損益	0	2	1	-	-	-
為替差損益	9	1	△ 9	-	-	-
その他	△ 1	0	1	-	-	-
営業外収支	4	△ 2	△ 7	-	-	-
経常利益	51	36	△ 15	△29.5%	205	17.7%
特別損益	△ 2	△ 0	2	-	-	-
税金等調整前四半期純利益	49	36	△ 13	△27.1%	-	-
法人税等及び少数株主利益	18	14	△ 4	-	-	-
四半期純利益	31	21	△ 10	△30.9%	110	19.5%

【売上高】
消費税増税前の駆け込み需要の反動が全般的に顕現。かかる状況下、食料セグメントや車両・航空セグメントにおいて増収となるも、電子・デバイスセグメントの減収により、全体では12億円の減収。

【営業利益】
鉄鋼・素材・プラントセグメントおよび電子・デバイスセグメントにおいて当期の滑り出しが低調であったため、8億円の減益。

【経常利益】
営業利益の減益に加えて、為替差益が減少したことなどから、15億円の減益。

【四半期純利益】
経常利益の悪化に伴い、10億円の減益。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2014/3末		2014/6末	
	2014/3末	2014/6末	増減	増減率
総資産	4,285	4,124	△ 161	△3.8%
グロス有利子負債	1,419	1,390	△ 29	△2.1%
ネット有利子負債	680	677	△ 3	△0.5%
株主資本	907	915	8	0.9%
その他の包括利益累計額	△ 190	△ 193	△ 3	-
少数株主持分	245	241	△ 5	△2.0%
純資産合計	962	963	1	0.1%
自己資本(注1)	717	722	5	0.8%
自己資本比率(注2)	16.7%	17.5%	0.8pt良化	-
ネットDER(注3)	0.9倍	0.9倍	-	-

【有利子負債】
グロス有利子負債は29億円減少。ネット有利子負債は3億円減少。

【純資産】
配当金の支払等はあったものの、四半期純利益による利益剰余金の積上げにより、1億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は5億円増加。

上記の結果、自己資本比率は17.5%に改善。ネットDERは0.9倍を維持。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位:億円)	2014/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	2015/3期	
営業活動によるCF	36	19	中間配当(予想)	1株当たり 2.5 円
投資活動によるCF	△ 35	△ 5	期末配当(予想)	1株当たり 1.5 円
フリーキャッシュフロー	2	13	年間配当(予想)	1株当たり 4.0 円
財務活動によるCF	△ 28	△ 36	※ 中間配当の内訳:	普通配当 1.5 円 記念配当 1.0 円
換算差額	7	△ 3		
現金・現金同等物の増減	△ 20	△ 26		

【営業活動によるCF】
営業利益の積上げ等により19億円の資金増。

【投資活動によるCF】
有形固定資産の取得等により5億円の資金減。

【財務活動によるCF】
借入金の返済等により36億円の資金減。

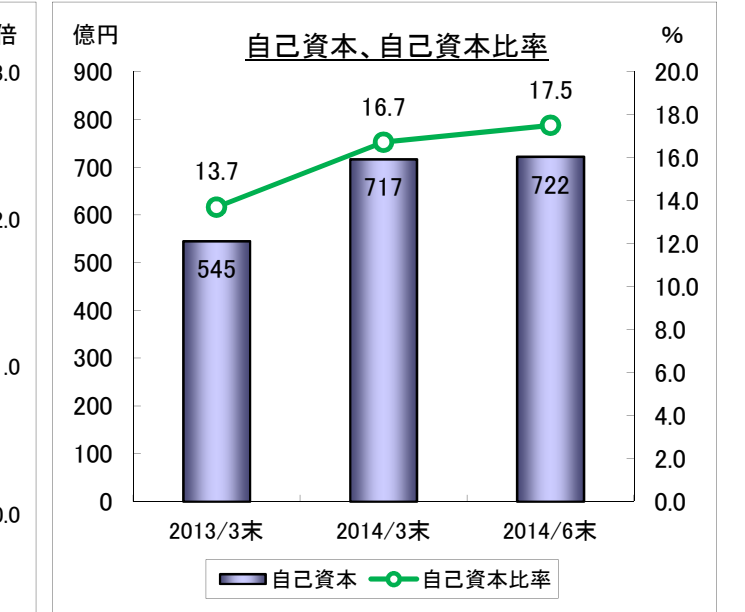
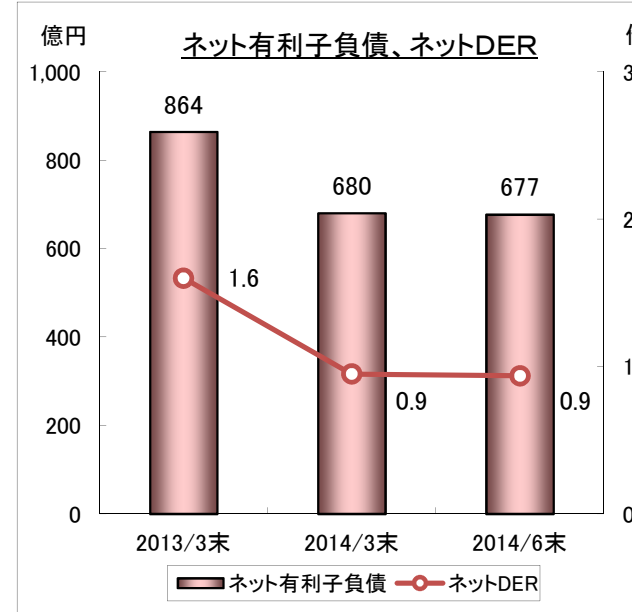
セグメント情報						
(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2014/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	前年同期比 増減	2014/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	621	571	△ 50	12	9	△ 3
食料	728	755	27	8	11	3
鉄鋼・素材・プラント	1,026	1,032	6	16	9	△ 7
車両・航空	135	153	19	9	9	△ 0
報告セグメント合計	2,510	2,511	1	45	37	△ 8
その他(含む調整額)	20	7	△ 13	2	1	△ 1
総合計	2,530	2,518	△ 12	47	39	△ 8

【電子・デバイス】 減収減益
半導体部品・製造装置事業は、アミューズメントおよび教育端末向け製品取引の増加やスマートフォン関連の設備投資需要増を背景に好調に推移。ICT・モバイルソリューション事業は、消費税増税前の駆け込み需要の反動等が影響。

【食料】 増収増益
畜産事業は、相場回復基調となり、外食向けの荷動きが堅調。食糧事業においては、食品大豆取引を始めとして全般的に順調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 増収減益
プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引やプラントインフラ取引が好調に推移。鉄鋼事業は、欧米向け自動車用特殊鋼取引が堅調に推移する一方、主力の油井管事業は、シェール関連の加工事業は順調なるもオフショア掘削の回復遅れが影響し滑り出しはやや低調。エネルギー事業は、石油製品の販売において、販売先への価格転嫁が進まず苦戦。

【車両・航空】 増収利益横這い
航空・宇宙事業は、航空機部品・循環部品取引が順調に推移。車両・車載部品事業は、欧米・アジア向け二輪・四輪車用部品取引が堅調に推移。



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。